

■
表紙図版解説

漢代画像磚（中国河南省鄭州市出土）拓

上 8.5×11cm

「単騎回射」

後方を振り向きながら馬上から弓を射る人を描いたもの。細めの馬脚、宙に浮いた手綱がシャープな線で表現されている。なお、馬上の人が前向きで射る画像もある。

下 7.8×13cm

「車騎出行」

貴人（車の真上に横顔だけがうっすらと見える）が御者とともに馬車に乗り、外出する場面を描いたもの。後方には一人の従者が徒歩で付き従っている。

* 画像磚とは、線刻された図像や文様を型押しした煉瓦のこと。こうした拓本も白と黒を基調とした平面芸術の一つといえよう。

[図版提供・文：横田恭三]